

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人長岡東山福祉会



令和2年度社会福祉法人長岡東山福祉会重点施策及び運営方針に基づき、次の事業を実施した。

**【社会福祉法人長岡東山福祉会本部事業】**

**事業運営の成果**

**(1) 理事会の開催状況**

開催日	出席者数	議案
6月2日	理事6/6名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事長並びに業務執行理事の職務の執行状況について（報告）</li> <li>・ 令和元年度社会福祉法人長岡東山福祉会支出予算の流用について（報告）</li> <li>・ 令和元年度社会福祉法人長岡東山福祉会支出予算の流用について</li> <li>・ 令和元年度社会福祉法人長岡東山福祉会事業報告及び決算、並びに監査報告について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会定款の一部改正について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会就業規則の一部改正について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会準職員等就業規則の一部改正について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会給与規則の一部改正について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会準職員等給与規則の一部改正について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会育児・介護休業等に関する規則の一部改正について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会法令遵守規程の一部改正について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会特定個人情報取扱規程の一部改正について</li> <li>・ グループホーム花の里かつぼ認知症対応型共同生活介護（介護予防認知症対応型共同生活介護）運営規程の一部改正について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会定時評議員会の招集について</li> </ul>
7月1日 (書面会議)	理事6/6名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会「特別養護老人ホーム花の里かつぼ特殊浴槽入浴機入替」整備事業について</li> </ul>
12月23日	理事6/6名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事長並びに業務執行理事の職務の執行状況について（報告）</li> <li>・ 特別養護老人ホームかつぼ園第2駐車場舗装工事完了について（報告）</li> <li>・ 特別養護老人ホームかつぼ園西側森林等伐採及び間伐による地域整備事業について（報告）</li> <li>・ 令和2年度社会福祉法人長岡東山福祉会第1次補正予算について</li> <li>・ 令和2年度地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金補正予算計上について</li> </ul>
3月25日	理事6/6名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事長並びに業務執行理事の職務の執行状況について（報告）</li> <li>・ 令和2年度社会福祉法人長岡東山福祉会第2次補正予算について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会中長期計画（令和3年4月1日から令和6年3月31日）について</li> <li>・ 令和3年度社会福祉法人長岡東山福祉会事業計画並びに当初予算について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会組織改変について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会管理運営規則の一部改正について</li> <li>・ 社会福祉法人長岡東山福祉会事務決裁規程の一部改正について</li> </ul>

開催日	出席者数	議案
3月25日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会個人情報保護規程の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会個人情報に関する文書等管理規程の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会職員被服貸与規程の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会感染症・食中毒の予防及びまん延の防止の指針の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会給与規則の一部改正について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会準職員等給与規則の一部改正について</li> <li>・長岡市デイサービスセンターふそき指定認知症対応型通所介護（指定介護予防認知症対応型通所介護）運営規程の一部改正について</li> <li>・デイサービス花の里かつぼ共用型認知症対応型通所介護（共用型介護予防認知症対応型通所介護）運営規程の一部改正について</li> <li>・特別養護老人ホームかつぼ園特浴機入替整備事業について</li> <li>・特別養護老人ホームかつぼ園交付金内定に伴う、多床室個室化工事整備事業について</li> </ul>

## （２）定時評議員会の開催状況

開催日	出席者数	議案
6月17日	7/7名 (理事1名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度社会福祉法人長岡東山福祉会事業報告及び決算、並びに監査報告について</li> <li>・社会福祉法人長岡東山福祉会定款の一部改正について</li> <li>・令和2年度社会福祉法人長岡東山福祉会事業計画並びに当初予算について（報告）</li> <li>・特別養護老人ホームかつぼ園の省エネ化等大規模修繕の完了について（報告）</li> <li>・デイサービスセンターかつぼ園の増築工事竣工及び既存センターの改修工事について（報告）</li> </ul>

## （３）法人本部の取り組み

- ・特別養護老人ホームかつぼ園の省エネ化整備事業を施工したが、冬季間（12月～1月）に数年に一度レベルの非常に強い寒気が流れ込んだことで、電力需要が約1割増加となった。天候の不順により太陽光等の再エネの発電量が減少し、液化天然ガス（LNG）の在庫減少によりガス火力発電の稼働が抑制され、全国的に電力需給が厳しい状況となり光熱費等の抑制ができず、省エネ効果が半減となった。
- ・給与設計や諸手当の改正に合わせ、職員の資質向上を主な目的として人事考課制度を再構築するとともに、その評価方法をリーダー以上の役職者向けに川原経営総合センターより講義を受け、共有した。運用は次年度より開始する。
- ・人員確保については、紹介会社やハローワーク経由で退職者の補充をすることができ、充足することができた。
- ・コロナ禍のため法人行事は規模を縮小し事業所単位の開催が中心となった。法人の最大イベントの納涼祭も開催中止となり、感染予防のため家族、利用者、地域とふれあう機会を持つことができなかった。

#### (4) 専門委員会

##### ① 人材育成委員会

令和2年度は研修計画一覧表・参加シート・振り返りシートを事前に配布し、自身で研修内容の振り返りができる仕組みづくりを行った。感染対策研修や接遇研修等は3拠点で統一した研修内容で実施できるよう、わかりやすく一覧表に色付けする等表記を工夫し、連携を取ることができた。

新型コロナウイルス感染予防対策として、密にならない研修を実施する等の対応を行った。今後も感染予防対策を行ったうえで、スムーズな研修の実施を心がけていく。

##### <資料> 研修内容

開催月	定期研修	職種別研修
5	食中毒予防と発生時の対応について（感染対策委員会主催） 接遇研修（人材育成委員会主催）	
6	身体的拘束適正化研修（委員会主催） リスク管理研修（委員会主催）	
7	個人情報保護とプライバシー保護について（人材育成委員会主催） 高齢者の権利擁護・虐待防止等について（地域包括主催）	事務職研修（1回目）
8	救急救命講習（看護職員主催）	事務職研修（2回目）
9	新型コロナウイルス発生時のシミュレーション（委員会主催）	相談員研修（人材育成委員会主催） 事務職員研修（3回目） 介護職1等級研修
10		事務職研修（4回目） キャリアパス初級者コース研修 キャリアパス中堅職研修（外部講師）
11	リスク管理研修（委員会主催）	介護支援専門員研修
12	身体的拘束適正化研修（委員会主催）	介護職2.3等級研修
1	認知症ケア研修（人材育成委員会主催） ターミナルケア研修（係長主催）	看護職研修
2	褥瘡予防ケア研修 メンタルヘルス研修（労働衛生委員会）	栄養士研修
3		新人フォローアップ研修

##### ② 法人防災委員会

4月に新採用者に防災基礎研修を実施した。また、8月に新採用職員を対象とした消火器取扱い講習会を行った。実技訓練はデイサービスセンターかつぼ園の増築工事のため、会場をケアセンター花の里かつぼの駐車場に変更し実施した。

業務継続計画については、立案が滞っていることから、次年度の課題としたい。

### ③ 入所検討委員会

入所申込み時点で在宅介護が困難な状況の方が多く、検討の結果早期入所となった待機者もいた。また市内に入所系施設が増えたことで、他施設への入所が決まり取り下げた方も多かった。そのため入所検討委員会で検討した上位の待機者全ての方が、法人内施設または他法人の施設へ入所となった月もあった。

### ④ サービス向上委員会

入所者（利用者）及び家族による満足度調査と職員の自己評価の実施分析を行い、改善すべき事項をアクションプランや事業所の目標に掲げて取り組んだ。新型コロナウイルス感染予防のため入所施設の面会制限実施期間が長くなったことから、満足度調査の質問内容を見直した。ご家族から率直なご意見も多くいただき、各事業所が改善に向けて取り組んだ。

### ⑤ 広報委員会

入所者ご家族の面会制限や、就職ガイダンス、介護体験事業などの中止、求職者や学校の採用担当者等に直接働きかける機会がなかった分、日常の様子をホームページに載せる頻度を上げるように事業所と連携して取り組んだ。採用応募者からは「法人の雰囲気が分かってよかった」と、一定の評価は得たが、自然検索では法人ホームページにたどり着かないという課題が残った。

広報『東山通信』（年3回発行）は、多くの行事が中止となり掲載内容に苦慮することもあったが、コロナ禍でも変わらず活動している日々の様子を伝える内容で発行できた。

### ⑥ 納涼祭実行委員会

新型コロナウイルス感染症まん延防止のため中止とした。

## （5）職員の動向

例年と比較しても入退職が多い年となり、うち4名は入職して1年未満の就労期間だった。退職の主な理由は、親の介護、異業種への転職等様々だったが、将来のキャリアデザインを具体的に提示できなかったことも課題であり、新人事考課の運用と併行し将来像が描けるキャリアアップを提案していきたい。また中途採用者から、「法人のホームページを見て良いイメージを持った」との意見が多く聞かれ、積極的な法人活動の発信が重要であることがわかった。

資格取得率については、介護福祉士に関しては全事業所70%以上配置できる状況であるが、介護支援専門員及び社会福祉士については、受験者は一定数いるが、取得が進んでいない現状がみられた。

### <資料>

#### ① 採用者・退職者数

単位：人（実数）

雇用形態	採用者数		退職者数	
	正規・準	パート	正規・準	パート
R2年度	21	3	19	1
R1年度	12	4	16	2

② 資格保有状況 (R3. 3. 31 現在)

単位：人（実数）

区分	かつぼ園	福祉センター ふそき	ケアセンター 花の里	合計
総職員数	99	53	43	195
介護福祉士	57	23	32	112
社会福祉士	3	8	2	13
看護師	5	6	1	11
准看護師	4	1	2	7
管理栄養士	2	0	1	3
理学・作業療法士	2	0	0	2
介護支援専門員	12	13	5	30

\*介護支援専門員は有効期限内の職員のみ

(6) 地域連携等に関すること

① 花華クラブ

- ・感染対策を講じながら、屋外の活動を主に実施した。
- ・法人花壇イベントに地域の方から参加していただけなかったが、会員の協力により例年どおり、ケアセンター花の里かつぼの花壇整備を行うことができた。

② レインボー健康体操

- ・コロナ禍により定例教室をほぼ中止した。高齢者センターふそき会場は感染状況が落ち着いていた時期に2回開催することができたが、直ぐに感染状況が拡大となったことから、その後は中止となった。入所施設の花の里かつぼ会場は開催できなかった。また、外部団体への講師出向も通年見合わせた。

<資料>

ケアセンター花の里かつぼ \*新型コロナウイルス感染症まん延防止のため開催を中止

月	実施回数		延べ参加人数		月	実施回数		延べ参加人数	
	R2 年度	R1 年度	R2 年度	R1 年度		R2 年度	R1 年度	R2 年度	R1 年度
4	0	4	0	42	10	0	3	0	23
5	0	3	0	31	11	0	4	0	38
6	0	4	0	41	12	0	4	0	41
7	0	4	0	57	1	0	3	0	33
8	0	4	0	51	2	0	3	0	34
9	0	4	0	58	3	0	0	0	0
合 計						0	40	0	449

高齢者センターふそき

月	実施回数		延べ参加人数		月	実施回数		延べ参加人数	
	R2 年度	R1 年度	R2 年度	R1 年度		R2 年度	R1 年度	R2 年度	R1 年度
4	0	4	0	116	10	0	3	0	78
5	0	5	0	125	11	2	5	57	152
6	0	4	0	105	12	0	4	0	119
7	0	2	0	30	1	0	4	0	119
8	0	2	0	27	2	0	3	0	88
9	0	2	0	26	3	0	0	0	0
合 計						2	38	57	985

近隣地域老人会等 \*新型コロナウイルス感染防止のため出向は見合わせた。

団体名	実施回数		延べ参加人数	
	R2 年度	R1 年度	R2 年度	R1 年度
美園友美会 (川崎地区)	0	8	0	165
東栄・琴平 地域の茶の間 (川崎地区)	0	2	0	28
愛宕 地域の茶の間 (川崎地区)	0	4	0	33
稽古町 地域の茶の間 (川崎地区)	0	3	0	19
若葉会 (川崎地区)	0	11	0	175
さくら会 (千手地区)	0	10	0	70
むら茶屋 (新組地区)	0	3	0	33
楽天茶屋 (新組地区)	0	1	0	16
福茶屋 (新組地区)	0	3	0	44
新保 2 丁目福祉部会 (新保地区)	0	1	0	23
新保 3 丁目福祉部会 (新保地区)	0	0	0	0
新保 4 丁目福祉部会 (新保地区)	0	0	0	0
シルバーハウジング稲葉	0	0	0	0
稲保はつらつ会 (稲保地区)	0	7	0	30
加津保楽生会 (山本地区)	0	1	0	18
亀崎町有志サークル (山本地区)	0	22	0	134
はつらつ広場 (栖吉地区)	0	11	0	195
宝町内会 (黒条地区)	0	5	0	45
合 計	0	92	0	1,028

その他

団体名	実施回数		延べ参加人数	
	R2 年度	R1 年度	R2 年度	R1 年度
レイボ-花の里・ふそき教室参加者懇親会	0	0	0	0
” 体力測定	0	1	0	33
” 大運動会	0	1	0	32
合 計	0	2	0	65

### ③ 花壇イベント

コロナ禍により春・秋の花壇イベントは中止した。代替として春は職員のみで花壇整備作業を行った。秋は感染状況が落ち着いている時期に、花華クラブの会員と合同で花壇整備活動を行うことができた。

花壇イベント 参加人数

	時季	参加人数	時季	参加人数	合計
R2 年度	春	18	秋	33	51
R1 年度	春	58	秋	39	97

### ④ 講師派遣（アクティビティ、フラワーアレンジメント、介護保険講義、栄養講義等）

新型コロナウイルス感染防止のため講師派遣の出向は見合わせた。

ひまわりの会については、介護予防促進のため感染状況が落ち着いている時期のみ実施できた。

派遣先団体名	実施回数		延べ参加人数	
	R2 年度	R1 年度	R2 年度	R1 年度
桂寿会（山本地区）	0	5	0	66
北陸福祉保育専門学院介護福祉学科	0	2	0	5
なかよし元気会（富曾亀地区）*R1 年度解散	0	3	0	17
ひまわりの会（新保地区）	6	9	51	75
宝町内会（黒条地区）	0	3	0	40
合 計	6	22	51	203

## （7）その他

### ① 介護予防教室「お元気学校」

令和2年度は4月から活動開始を予定し外出の計画を立てていたが、コロナ禍のため、残念ながら外出は中止とし6月から再開した。また開催会場を12月より入所施設である「ケアセンター花の里」から「長岡市高齢者センターふそき」へ移し実施した。参加者の動向としては、体調を崩す等の要因から休まれる方も多く、結果2名の方が退校となったが、年度末に2名の新規参加者の申し込みがあり、新年度は14名で開始する予定である。

お元気学校参加人数

実施回数		延べ参加人数	
R2 年度	R1 年度	R2 年度	R1 年度
18	18	187	196

### ② 介護体験教室

- ・毎年夏休みに地域や職員の子どもの対象とした介護体験教室を実施していたが、新型コロナウイルス感染防止のため、残念ながら中止した。
- ・山本中学校より依頼を受け、1年生の総合学習の授業の時間に、福祉の仕事についての講義、疑似体験セットを使用しての高齢者疑似体験、最新の車椅子体験等を行った。子ども達からは、「自分のおばあちゃんに話をしてもなかなか返事をしてくれないと思ったが、気持ちがわかった。」「車椅子にこんな色々な機能があるとは思わなかった。進化しているのにびっくりした。」等の感想が聞かれ、福祉の魅力を発信することができた。

### ③ 新型コロナウイルス感染症予防対策等について

新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため、入所系施設のオンライン面会の促進や消毒作業の徹底等、様々な感染予防対策を実施した。そのため従来とは違う業務や利用者への配慮が必須となり職員の負担は増大した。また、感染対策や消毒に係る物品や、感染症発生時に備えた備蓄品を整備した支出が増えた。職員には、前年度同様、法人自主事業の変更や利用者への対応等について通知を出し、感染対策に関する事項の周知徹底を図るとともに、WEB研修等を活用し感染症やその対応への理解を深める取組を実施した。感染症発生時の業務継続計画については、作成に向けて動き出しているが、次年度の完成を目指すこととしたい。

## 【拠点・特別養護老人ホームかつぼ園】

### 1. 事業運営の成果

#### (1) 事務課

- ・収支分析については予算執行率等を加え具体的に実施したことにより、より実績に沿った補正予算や決算につなげることができた。
- ・前年度見直しを行った事務処理マニュアルについて、実際に活用できるか確認を行い、担当職員不在でも対応ができるよう整備した。新規マニュアルや追加マニュアルについては来年度も継続していく。
- ・前年度に引き続き事務職育成プログラム検討会を実施し、最終クリア基準のプログラムを完成させた。来年度は実際に運用しながら項目等修正追加をし、より実態に沿ったプログラムを完成させることが課題となる。プログラム表は未完成にとどまる。
- ・接遇自己評価を継続的に実施したことで意識が高まってきている。また、事務員の入所申込対応マニュアルを整備したことにより、相談員不在時でも対応できるよう良い接遇につなげられた。

#### (2) 施設サービス課（特別養護老人ホームかつぼ園）

- ・新型コロナウイルス感染予防対策を強化し、面会制限、コンタクトポイントの消毒の徹底等に取り組み、新型コロナウイルス感染症の他、インフルエンザや感染性胃腸炎の発症及びまん延を防ぐ事ができた。入退所については昨年度とほぼ同数の39名の退所者があり、速やかに新規入所者の受け入れを行うために専任の相談員を1名増員し、看護師・介護支援専門員が協力して事前調査を行い、細かな情報収集とスムーズな入所の受け入れを行う事ができ、目標稼働率（99.3%）を達成することができた。
- ・ラインを使用しての面会、1月からはタブレットを使用しての面会を実施したが、機器をもっていなかったり、操作に不慣れなご家族が多く、年間30件未満の実績にとどまった。

##### ① 1・2係

- ・機能訓練指導員による、ご利用者の身体状態に合わせたグループ別のリハビリや個別機能訓練を計画的に実施した。その効果として、リハビリに参加したいという希望者が増加し、様々な活動へのご利用者の意欲が向上した。
- ・感染予防のため面会制限が長期間となった。そのため、日頃の様子と違う小さな状態変化に対しても細目に電話やお便りにてご家族へお伝えし、情報共有を図った。
- ・機能訓練指導員（作業療法士・理学療法士）による褥瘡予防やポジショニング方法の研修を実施し、それを受けて介助方法を工夫し、褥瘡の発生を最小限に抑える事が出来た。その他、法人全体で排泄用品の購入について、業者を一括化する等の取組を行い、より良質で安価な商品を購入する事ができ、コスト削減に繋がった。
- ・ご利用者とご家族が安心納得のできる看取りケアを行う為、ご利用者の生活歴やライフスタイル、価値観を重視し寄り添う看取りケアを行った。県外在住のご家族とも、感染対策を十分に講じたうえで、ご本人ご家族にとっての最善の看取り介護について話し合いを繰り返し対応した。その結果、ご利用者のご希望に添った看取りを行うことができ、ご家族から感謝の言葉をいただいた。
- ・令和2年度は、地域の行事や保育園児、児童、学生の受け入れを積極的に行う事はできな

ったが、ホームページを通じて事業所の取り組みや、余暇活動の様子を発信する事で利用者の笑顔をご家族や地域へ届ける事ができた。

- ・外部研修への参加はできなかったが、動画やWEBを活用して研修に参加した。特に感染予防対策においては、感染発生時のシミュレーションを行い、多くの課題に気付くことができた。感染予防、まん延防止に対する現状のマニュアルも適宜見直し、職員全員へ周知し理解を深める取組を行った。
- ・職員の働きやすさや働きがいの向上の為、業務全体の見直しを行った。特にタブレットの導入により利用者の見守りを行いながら記録する事ができ、時間外削減に繋がった。

## ② 医務係

- ・利用者の日常生活の健康管理を行い、協力病院と密接な連携を図りながら本人及び家族に寄り添うケアを実施することで不安や苦痛を取り除き穏やかな生活が送れるよう支援した。
- ・新型コロナウイルスの感染状況やそれに係る情報を常に確認し、発生時の対応について日々検討を重ね全職種で準備等に取り組んだ。
- ・利用者や家族の心身状態を考慮し、細やかな情報提供と必要な支援を行うことで、最期まで穏やかで安心できる看取りケアを実践した。
- ・口腔ケアの実施により口腔内の清潔保持、誤嚥性肺炎の予防に努めた。また、日常生活の中で身体機能の維持を目的とした機能訓練を実施し褥瘡の予防に努めた。
- ・福祉施設の看護職員として必要な技術について研修を実施し、日常ケアの質の向上を図った。

## ③ 給食係

- ・看取り支援の一環として、口当たりの良い食事を提供し、最期まで口から食べる楽しみを感じられるよう、食事面から支援を行った。
- ・低栄養の予防、改善を目標に、食事形態を6段階（常食・刻み食・小刻み食・超刻み食・ミキサー食・ムース食）で対応し、入所者一人ひとりにあった栄養ケアマネジメントを行い食事提供できた。また定期的に見直しを行い、個々の利用者の栄養状態を把握するとともに、その維持・向上に努めた。
- ・利用者の重度化により、離床が難しい方、疲れやすく全量摂取が困難な方に対して、配膳時間の調整、食事内容の検討を行い、負担の少ない食事提供方法を実践した。
- ・月に1回程度、委託業者と連携し季節に合わせた行事食やバイキング、大手外食チェーン店とのコラボ給食、都道府県巡りのご当地献立を実施した。特にバイキング（スイーツ・寿司）が好評だった。
- ・新型コロナウイルス感染発生時に備えて、使い捨て食器等の備品整備と備蓄品の確認を実施した。

## 資料1 <入所者の状況>

### ① 入退所状況

単位：人（実数）

状 況	入所前の状況					合 計
	在 宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病 院	法人グルー プホーム	
R2年度	14	9	9	4	1	37
R1年度	5	9	4	6	2	36

退所の状況					
状況	在宅	施設で死亡 ※1 ( )	協力病院 入院中死亡	病院等へ入院 のため退所	合計
R2年度	0	39 (36)	0	0	39
R1年度	0	36 (29)	1	0	37

※1 ( ) ターミナルケア計画に基づき、施設内で看取りを実施した数

② 年度末介護度別数

単位：人（実数）

年度	介護度	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
	R2年度		1	1	23	33	46
R1年度		1	1	16	39	47	104

③ 月別利用数

単位：人（延べ数）

R2年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	3,079	3,190	3,115	3,222	3,203	3,090		
月	10	11	12	1	2	3			
人数	3,192	3,087	3,186	3,191	2,908	3,216			
R1年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	3,099	3,206	3,056	3,190	3,214	3,115	37,794	99.3%
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	3,180	3,129	3,191	3,198	2,998	3,218		

④ 介護度別利用数

単位：人（延べ数）

R2年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	365	365	6,781	12,011	18,157	37,679	4.25
R1年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	366	715	4,512	15,315	16,891	37,794	4.2

⑤ 日常生活動作（令和3年3月31日現在） 単位：人（実数）

生活動作尺度	区分	R2年度	R1年度
移動	独歩	2	2
	介助・介助具使用	15	10
	車椅子	85	92
食事	自立	52	46
	見守り	0	0
	一部介助	24	21
	全介助	20	33
	経管栄養	6	4
排泄 (日中)	トイレ 自立	3	10
	一部介助	30	21
	全介助	5	5
	ポータブルトイレ・自立	4	1
	一部介助	5	3

生活動作尺度	区 分	R2 年度	R1 年度
	全介助	0	0
	ムツ	49	61
	フォレ	6	3
入 浴	一般浴	20	18
	座浴	32	24
	特浴	50	61

⑥ 食事形態 (令和3年3月31日現在) 単位：食(実数)

主食		副食	
米飯	17	普通	19
粥	49	刻み	29
粥ミキサー	26	小刻み	0
パン粥	4	超刻み	18
経管栄養	6	ミキサー	27
		ムース	3

資料2 <余暇活動等> コロナ禍のため、一部の活動等を中止した。

① 余暇活動の実績 単位：人

月	余暇活動内容	参加人数
4	ふれあいタイム	29
	映写会	34
	喫茶	59
	カラオケ	16
5	すこやかともしび祭作品作り	25
	おはぎ作り	12
	ふれあいタイム	138
	喫茶	48
6	すこやかともしび祭作品作り	25
	七夕飾り作り	11
	映写会	34
	喫茶	41
7	カラオケ大会	18
	喫茶	46
	映写会	8
8	盆供養会	20
	すいか割り大会	15
	喫茶	50
	映写会	34
	風船バレー	15

月	余暇活動内容	参加人数
9	すこやかともしび祭作品作り	4
	おはぎ作り	8
	敬老会	32
	喫茶	51
10	大運動会	12
	喫茶	52
	映写会	8
	カラオケ	20
11	外出ドライブ	6
	カラオケ	28
	映写会	30
	喫茶	52
12	映写会	25
	喫茶	50
1	新年会	21
	絵馬づくり	40
	映写会	10
	貼り絵	10
	喫茶	48
2	節分	24
	貼り絵	12
	喫茶	53
3	風船バレー	28
	貼り絵	12
	ゲーム	22
	春を迎える会	15
	喫茶	50
合 計		1,401

## ② クラブ活動の実績

クラブ名	実施回数	延べ参加人数
調理クラブ	4	30
書道クラブ	12	112
生け花クラブ	5	60
合 計	21	202

### ③ 特養花華クラブ参加状況（家族協力会協賛）

コロナ禍のため、ご家族の参加は中止とした。

単位：人（延べ数）

月	実施回数	参加人数		内 容
		入所者	家族	
6	1	12	0	夏のプランター作り
7	1	12	0	風鈴短冊作り
9	1	12	0	菜の花の種まき
10	1	12	0	秋のプランター作り
11	1	12	0	花華カレンダー作り
12	1	12	0	葉ボタンの植え付け
合計	6回	72	0	※4・5・8・1・2・3月は実施なし

### （3）施設サービス課（短期入所事業かつぼ園）

- ・昼食前に行っている軽体操とお口の体操を兼ねた歌の会は、ご利用者の日課として定着した。また裏庭の花壇ではひまわりやコスモスの栽培を行った。種蒔きから苗の管理を職員、ご利用者とで行い、開花した際はご利用者から喜びの声が聞かれた。
- ・感染対策の一つとして入浴業務の見直しを行った。当初、浴室への動線が長くなり職員の負担が大きかったが、職員間の連携を強化し安全な入浴業務を行えた。
- ・感染対策を優先したことで、ご利用者との活動も制限された。そういった状況下ではあったが、機能訓練指導員を中心に午後からミニ余暇や体操を実践し、ご利用者から日課として認知され楽しみにされている方も増えた。
- ・専任の看護職員と介護職員が、ご利用者の体調の把握や対応について速やかに情報共有を行うことで、体調不良者の迅速な支援に繋がった。
- ・人員配置の見直しを図ったが、課内の協力体制が定着し、年休の取得や突発的な事態にも対応することができた。
- ・利用者の定着の促進と稼働率向上のため、利用者の状態及び空室状況等について居宅介護支援事業所等の関係機関に情報提供を実施した。利用者個々の家庭状況に合わせ、ニーズに柔軟に対応して受け入れを行った。しかし、長い期間利用された方の入院や法人の特養等への入所もあり稼働率が下がった。新型コロナウイルス感染拡大による利用のキャンセルは年間を通じて数件程度だった。

### 資料＜利用者の状況＞

#### ① 市別利用数

単位：人・日（延べ数）

区分 年度	長岡市		見附市		合 計	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数
R2年度	1,079	6,772	83	369	1,162	7,141
R1年度	1,059	6,809	70	637	1,129	7,446

② 月別利用数 ( ) 内は予防短期入所生活介護利用数

単位：人 (延べ数)

R2 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	562 (8)	573 (6)	653 (9)	673 (9)	598 (9)	618 (11)		
月	10	11	12	1	2	3			
人数	545 (11)	564 (17)	545 (19)	602 (19)	561 (11)	496 (22)			
R1 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
R1 年度	人数	546 (12)	618 (18)	590 (19)	662 (19)	652 (11)	561 (16)	7,305 (171)	101.7%
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	639 (15)	656 (11)	621 (7)	629 (0)	586 (0)	545 (13)		

③ 介護度別利用数

単位：人 (延べ数)

R2 年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	151	408	1,668	1,735	1,631	1,548		
R1 年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	141	457	1,581	2,075	1,623	1,569		

(4) 在宅サービス課 (デイサービスセンターかつぼ園)

- ・新規利用者獲得と稼働率向上のため、居宅介護支援事業所を訪問し空き情報や新施設移転をPR するための情報を発信した。法人内居宅支援事業所からの新規利用者は大幅に増加したが、施設入所される方も多く、また他法人の居宅支援事業所からの新規利用者の紹介が少なかったこともあり、年間稼働率は微増に留まった。今後稼働率向上のため、空き情報の発信だけではなく、法人ホームページ等を活用した情報発信を実践し、事業所内の様子が見えやすいよう対応していく。
- ・個別機能訓練へのニーズが高い状況は継続され、全体の7割の方が参加された。また専門職を配置したことで、利用者のニーズに対し細かな対応ができ、個別機能訓練加算算定額は前年度を大きく上回る事ができた。
- ・立案した行事等は、感染予防のため中止したものが多くあったが、代わりに職員が講師となりフラワーアレンジメントを実施した。今後は感染対策を行ったうえで、利用者が楽しめる行事や活動を検討する。

資料<利用者の状況>

① 登録者数

単位：人 (実数)

区分 年度	長岡市	見附市	合計
R2 年度	80	4	84
R1 年度	88	3	91

② 利用者数

単位：人（延べ数）

区分 年度	長岡市	見附市	合計	稼働日数	1日あたり 平均人数
R2年度	7,677	252	7,929	364	21.8
R1年度	7,732	148	7,880	365	22.6

③ 月別利用数

( ) 内は予防通所サービス利用数

単位：人(延べ数)

R2 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率		
	人数	597 (40)	627 (48)	602 (41)	652 (38)	658 (37)	683 (32)			7,484 (445)	87.1%
月	10	11	12	1	2	3					
人数	653 (31)	634 (40)	623 (39)	564 (35)	541 (35)	650 (29)					
R1 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率		
	人数	638 (30)	643 (32)	645 (33)	660 (33)	653 (36)	627 (28)			7,473 (407)	86.4%
	月	10	11	12	1	2	3				
	人数	625 (18)	605 (36)	630 (38)	567 (40)	569 (44)	611 (39)				

④ 介護度別利用者数

単位：人(延べ数)

R2 年 度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	445	1,626	2,260	2,285	810	503		
R1 年 度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	407	1,296	2,597	2,059	948	573		

⑤ 行事計画

コロナ禍のため、多くの行事を中止した。

単位：人(延べ数)

月	行事計画	参加人数
8	デイ夏祭り	45
9	敬老会	23
10	運動会	70
11	デIFロア作品展示	(7日間展示)
12	鏡餅作り	21
	クリスマス会	41
	フラワーアレンジメント教室	4
1	新年会	36
	書初め	75

月	行事計画	参加人数
2	節分	23
3	年度末感謝祭	69
合 計		407

### (5) 在宅サービス課（在宅介護支援センターかつぼ園）

- ・利用者や家族の生活に視点をおき、初回面接やアセスメントを実施することはできたが、課題整理総括表の活用が難しく課題としてあがった。事業所内での事例検討会等も実施し、インフォーマルサービス等も含めた居宅サービス計画書の作成を行うことができるようになり取り組んだ。また医療との連携を強化するために、病院、かかりつけ医毎の情報提供の窓口を確認し、一覧表を作成し、連携がスムーズに行えるような体制を作り、業務の標準化が図れるように努めた。
- ・コロナ禍のため外部研修への参加も難しかったが、後半、ZOOM を活用した研修への参加、個々の個人研修計画に基づいた自己学習に取り組み、事業所内での学びの報告会を開催することができ、個々の資質向上を図ることができた。また、地域の介護支援専門員の資質向上を目指し、他法人との合同事例検討会の開催に向けて検討を行ったが、新型コロナウイルス感染拡大により、開催できなかった。来年度は研修方法等を検討し開催できるように努めていきたい。

### 資料＜利用者の状況＞

#### ① 居宅サービス計画作成数

単位：件（延べ数）

R2 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	133	128	129	137	140	140	1,609
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	138	136	134	128	131	135	
R1 年度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	137	129	132	132	129	140	1,603
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	131	134	140	135	132	132	

#### ② 介護予防支援受託件数

単位：件（延べ数）

R2 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	22	24	23	25	23	22	275
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	22	22	22	24	23	23	
R1 年度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	14	13	13	11	14	15	185
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	15	16	19	18	19	18	

③ 介護予防ケアマネジメント受託件数

単位：件（延べ数）

R2 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	2	2	2	3	2	2	18
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	1	1	1	1	1	0	
R1 年度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	4	3	4	3	3	2	31
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	2	2	2	2	2	2	

④ 訪問調査件数

R2年度	84件	R1年度	170件
------	-----	------	------

2. ボランティア・実習生等の受け入れ

コロナ禍によりボランティアについては、地域団体の除草等、ごく限定された作業のみ受け入れた。

① ボランティアの受け入れ

単位：人（延べ数）

区 分			R2年度	R1年度
かつぼ園	定期	個人ボランティア	0	57
		団体(グループ)ボランティア	122	285
	随時	個人ボランティア	0	5
		保育園・学校等	0	14
合 計			122	361

② 施設及び居宅実習・体験実習等の受け入れ

受入事業所	区 分	R2年度		R1年度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
特養かつぼ園	北陸福祉保育専門学院 (介護福祉士資格取得)	7	200	5	106
	北陸福祉保育専門学院 (管理栄養士資格取得)	20	2	2	24
	悠久山栄養調理専門学校 (調理師資格取得)	0	0	2	28
	新潟県新採用職員研修	0	0	2	2
支援センター	新潟県厚生連中央看護専門学校 在宅看護実習	20	40	15	30
デイ・特養	福祉体験学習 (中学校)	0	0	2	4
合 計		47	242	28	194

3. 拠点委員会

① リスク管理委員会

- ・リスクマネジメントの再発防止策をテーマとした動画を活用し研修を実施した。参加者からは

実際に目で見ることによって理解しやすかったと好評だった。また、同様の事故が頻発してしまうため、個別の介護技術研修会を実施した。日常の介護技術を振り返るきっかけとなり事故防止につながる事ができた。

## ② 食事サービス委員会

- ・ターミナル者の増加を受けて、食べやすい乳製品の提供について食事形態等を委員会で検討した。またご利用者から好評で要望があった献立（雑炊）の提供について委員会内で検討し、毎週提供できることになった。

## ③ 防災委員会

- ・夜間を想定した避難訓練を2回実施した。コロナ禍のため、地域住民及び消防署員の参加は見送ったが、訓練状況を動画で撮影し、委員会で課題を洗い出し、冷静な視点で参加者が行動を振り返ることができた。また参加できなかった職員も動画を確認し、良かった点や課題を共有することができた。

## ④ 感染対策委員会

- ・新型コロナウイルス感染症の予防に重点を置いて、年間を通じて職員への注意喚起を行うとともに、消毒作業やご利用者の介助方法の検討を行った。10月には新型コロナウイルス発生時の対応訓練を実施し、職員それぞれの動きと標準予防策の重要性を再確認でき、職員・入居者共に実のある訓練だった。

## ⑤ 労働衛生委員会

- ・職員への定期健康診断実施後の再受診について、委員が個々に働きかけ、疾患の早期発見・早期治療に繋げることができた。委員会主催の研修は、腰痛による労災も発生していることから、理学療法士に依頼し腰痛予防に繋がるストレッチを中心に学んだ。

## ⑥ 身体拘束廃止虐待防止委員会

- ・やむを得ず身体拘束を実施する対象者に対し拘束解除の検討を2ヶ月毎に委員会で実施するとともに、不適切なケアの場面がなかったか検証を実施した。また動画を活用した研修により日常の介助や支援方法について職員の気付きを促すことができた。

## ⑦ 園芸委員会

- ・ご利用者と行った種まきと挿し芽で育てた苗を、ふそき元気塾参加者やケアセンター花の里かつぼに配ることができ、大変喜ばれた。
- ・コロナ禍ではあったが、山本地区民協や花華クラブの皆さまのご協力に加え、例年以上に多くの職員が関り花壇や園庭を多くの花で彩ることができた。

## ⑧ 痰の吸引等安全対策委員会

- ・医師より痰の吸引の指示を受けた入所者はいなかったが、介護職員による安全な痰の吸引の実施ができるよう実技研修を年2回実施した。

## 4. 苦情（意見）内容

デイかつぼ園	①内容	申出者 ご家族 送迎時の職員の言動が不愉快であり、接遇に問題があるのではないか。
	原因と対応	送迎時について職員間で乱暴な口調で会話をしてしまったことで、ご家族に不愉快な思いを与えてしまった。管理者がご本人とご家族に謝罪を行った。
	改善策（結果）	送迎時の接遇について、注意喚起を実施した。

## 【拠点・福祉センターふそき】

### 1. 事業運営の成果

#### (1) 高齢者センターふそき

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により当初計画していた事業（自主事業含む）を予定通りに実施することができなかった。4月は閉館、5月からは利用の制限付きで開館したが、消毒作業と利用者に対しての説明等に時間をとられ対応に苦慮した。滞在時間の制限等もあり来館者総数は大幅に落ち込んだ。一部の自主事業は開催することができたが、新年度は新しい生活様式に対応した新たな事業の展開が必須と考える。

#### 資料 <利用者の状況>

##### ① 利用者数

項目	年度	延べ人数	前年度比 (%)
専用室利用者	R2	7,225	49.5
	R1	14,604	
個人入館者	R2	5,410	31.1
	R1	17,378	
合計(総入館者)	R2	12,635	39.5
	R1	31,982	

##### ② 行事等の状況

自主事業のカラオケ・誕生会 はコロナ禍のため中止した。

フラワーアレンジメント

月	実施回数		延べ参加人数		月	実施回数		延べ参加人数	
	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度		R2年度	R1年度	R2年度	R1年度
4	0	1	0	8	10	1	1	8	6
5	0	1	0	7	11	1	1	11	10
6	0	1	0	10	12	1	1	10	8
7	0	1	0	9	1	1	1	4	4
8	0	1	0	6	2	1	1	6	10
9	1	1	11	8	3	1	0	11	0
合 計						7	11	61	86

映写会

月	実施回数		延べ参加人数		月	実施回数		延べ参加人数	
	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度		R2年度	R1年度	R2年度	R1年度
4	0	2	0	27	10	1	2	9	36
5	0	2	0	30	11	1	2	12	26
6	0	2	0	92	12	1	2	6	29
7	0	2	0	59	1	1	2	3	34
8	1	2	5	27	2	1	2	9	41
9	1	2	13	36	3	1	0	7	0
合 計						8	22	64	437

その他

月	内 容	参加人数	
		R2 年度	R1 年度
12	はかま紙教室	8	8

## (2) 長岡市デイサービスセンターふそき

- ・一般型通所介護及び認知症対応型通所介護ともに、登録者数並びに延べ人数が大幅に減少した。外部環境的にも近隣に入所・通所介護事業所が多く、かつご利用者やご家族の多様化するニーズに対応できなかったことが大きな要因だと思われる。また前半期には新型コロナウイルスの感染拡大による利用控えがあったこと、ご家族が首都圏へ行かれたことで安全のため休まれたご利用者がほぼ毎月おられたことも大きく影響した。
- ・認知症対応型通所介護の稼働率の低下は著しく、認知症ということへの利用者、家族の拒否的な感情等もあり、利用に結びつかないケースが多かった。収益の悪化をうけて指定管理者（長岡市）と協議を行い、令和3年度より営業日を変更することとなった。
- ・事業所内で多職種が意見を出しあい通所介護サービス計画書の作成に取り組み、個別ニーズに即した計画を作成することができた。また、リハビリを兼ねた買い物など前年度実施していた活動がコロナ禍のなか実施できなかったが、夏祭りや敬老会等の行事については、感染対策を講じたうえで実施できた。加えて脳トレーニング等の活動の時間を多く持ち認知機能の予防を図ることができた。
- ・コロナ禍により地域との交流が難しく、特にご利用者が例年楽しみにしている園児と触れ合う機会を持てなかったが、保育園から花の苗をいただき、それを育てて成長の具合を保育園に報告する等の交流活動を行った。
- ・自主事業として高齢者センター内で行われた地域の老人クラブの活動に継続的に職員を派遣し、要望に沿って支援を実施した。また新型コロナウイルス感染症対策としてボランティアの受け入れを中止せざるを得ない状況となった。
- ・情報発信の一環として「かわら版」を地域へ配付・回覧を継続して実施した。

### 資料＜利用者の状況＞

#### ① 登録者数

単位：人（実数）

年度	長岡市		合計
	一般型	認知症型	
R2	110	21	131
R1	157	40	197

#### ② 利用者数

単位：人（延べ数）

年度	長岡市		合計	稼働日数	1日あたり 平均人数
	一般型	認知症型			
R2	9,101	2,354	11,455	365	31.4
R1	9,541	3,009	12,550	366	34.4

③ 月別利用数

( ) 内は予防通所介護及び予防通所サービス利用数

単位：人(延べ数)

R2 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	一般型		624 (119)	655 (129)	628 (128)	675 (125)	660 (117)	654 (124)	7,689 (1,412)
		10	11	12	1	2	3		
		643 (122)	627 (114)	634 (122)	601 (113)	620 (96)	668 (103)		
認知症型	月	4	5	6	7	8	9	2,354 (0)	53.7%
		247 (0)	225 (0)	238 (0)	244 (0)	211 (0)	194 (0)		
		10	11	12	1	2	3		
		190 (0)	201 (0)	186 (0)	146 (0)	128 (0)	144 (0)		
R1 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	一般型		662 (121)	650 (129)	675 (119)	701 (117)	700 (103)	671 (114)	8,115 (1,426)
		10	11	12	1	2	3		
		695 (114)	683 (124)	706 (126)	664 (112)	637 (116)	671 (131)		
認知症型	月	4	5	6	7	8	9	3,009 (0)	68.7%
		279 (0)	265 (0)	251 (0)	265 (0)	255 (0)	251 (0)		
		10	11	12	1	2	3		
		245 (0)	237 (0)	247 (0)	237 (0)	214 (0)	263 (0)		

④ 介護度別利用数

単位：人(延べ数)

R2 年 度	介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	一般型		251	1,161	1,837	1,993	2,244	979	636	9,101
認知症型		0	0	305	590	752	420	287	2,354	2.91
R1 年 度	介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	一般型	344	1,082	2,421	2,802	1,453	1,055	384	9,541	2.28
認知症型	0	0	636	823	593	615	342	3,009	2.74	

⑤ 行事等の状況

単位：人(延べ数)

月	行事内容	参加人数	
		R2 年度	R1 年度
4	お花見ドライブ	0	149
5	菖蒲湯	0	75
6	買い物外出	0	27
7	ふそき夏まつり	27	73
9	長寿を祝う会	62	72
	すこやかともしびまつり見学	0	5
10	コミュニティふそきまつり見学	0	3
	ふそき大運動会	0	37
11	山本コミュニティ芸能発表会見学	0	3
	秋の外出	0	4
12	クリスマス会	70	68
	鏡餅作り	0	30
	ゆず湯	0	101
1	新年会	0	42
2	節分	0	71
合 計		159	760

(3) 暮らし元気アップ事業「ふそき元気塾」

- ・ご利用者の希望や予想と違うということでご利用者の定着がなかなかはかれない状況だったため、地域包括支援センター等他機関に対して、サービス内容の情報提供をより密に行った。その結果、内容をしっかり理解したうえで参加されるご利用者が増え稼働率も上がった。
- ・感染対策を講じたうえで、法人の運動指導員による運動機能向上プログラムを組み込み、認知症予防や口腔機能向上講座を定期的を実施した。コロナ禍の中外出を控えているご利用者が多く、「ふそき元気塾」に出掛けることが楽しみであるという声を多くいただいた。
- ・ボランティアについては感染症予防のため地域に向けての募集は行わなかった。

資料<利用者の状況>

① 利用者数

単位：人(延べ数)

R2 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	人数	114	141	151	139	143	150	1,800
	月	10	11	12	1	2	3	
	人数	167	154	172	144	154	171	
R1 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	人数	158	143	141	155	138	143	1,742
	月	10	11	12	1	2	3	
	人数	155	162	142	136	137	132	

#### (4) 介護プランセンターふそき

- ・令和2年度は要介護者、要支援者ともに計画作成件数が増えた。管理者が個々の職員の担当利用者の動きを確認し、適切に割り振ることができた成果と考える。
- ・新型コロナウイルス感染予防に努めながら、医療機関や各事業所と必要な情報を共有し、大きなトラブルなくサービス調整を行うことができた。しかし、他法人との合同研修会については各事業所と相談の結果開催できなかった。また、認定期間の見直しにより、認定調査が大幅に減少した。

#### 資料<利用者の状況>

##### ① 居宅サービス計画作成数

単位：件（延べ数）

R2 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	124	124	129	128	131	132	1,555
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	129	130	132	132	132	132	
R1 年度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	128	124	133	129	129	128	1,535
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	126	127	124	128	129	130	

##### ② 指定介護予防支援受託件数

単位：件（延べ数）

R2 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	11	12	11	12	10	11	130
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	11	12	10	10	10	10	
R1 年度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	10	10	11	9	8	9	117
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	9	9	10	10	11	11	

##### ③ 介護予防ケアマネジメント受託件数

単位：件（延べ数）

R2 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	5	5	6	5	7	5	64
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	6	5	6	5	5	4	
R1 年度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	5	6	6	7	5	4	56
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	4	3	4	4	4	4	

④ 認定調査件数

R2 年度	86 件	R1 年度	219 件
-------	------	-------	-------

(5) 長岡市地域包括支援センターふそき（長岡市委託事業）

- ・新型コロナウイルス感染拡大を受けて実態把握の訪問ができない時期があり、昨年と比べ訪問件数が減少した。しかしこの時期に何が出来るかを考え、憂慮される高齢者に対して電話による安否確認を積極的に実施した。
- ・地域からの電話相談は増えており、感染対策に留意したうえで訪問し対応した。
- ・圏域会議を開催し、会議の評価と困難事例検討を行い、専門職として適切な助言を行った。
- ・職員が担当できるケース数が増えたことで介護予防支援、介護予防マネジメント支援実施人数が昨年度より増えた。

資料＜利用者の状況＞

① 相談業務の状況

- ・相談人数 (単位：件)

年度	電話	来所	訪問	その他	合計	実態把握 年間実件数
R2	2,442	296	1,117	210	4,065	582
R1	2,327	351	1,627	174	4,479	960

- ・相談経路 (単位：件)

年度	本人	継続	家族	民生委員	福祉機関	医療機関	地域機関	現況調査	行政機関	その他	合計
R2	108	1054	240	30	40	60	5	179	27	55	1,798
R1	124	996	275	27	35	43	14	551	27	66	2,158

- ・相談内容 (単位：件)

相談内容		件数	
		R2 年度	R1 年度
介護保険	認定関係	479	546
	サービスの紹介	383	416
	その他	615	621
小 計		1,477	1,583
介護保険外	介護方法や介護の悩み	54	63
	医療・疾病関係	59	40
	高齢者の介護予防	111	98
	配食サービス	19	3
	外出支援サービス	62	52
	生活支援サービス	82	120
	福祉機器	94	65
	住宅の増改築	26	45
その他サービスの取次ぎ		33	47

相談内容		件数		
		R2 年度	R1 年度	
介護保険外	虐待防止	3	1	
	権利擁護・成年後見	2	13	
	認知症・物忘れ	132	113	
	その他	698	1,123	
小 計		1,375	1,783	
ケアマネ支援	ケアマネジメント	アセスメント	1	0
		ケアプラン	0	0
		サービス調整	0	0
		モニタリング	0	0
		担当者会議	1	0
	社会資源紹介	0	0	
	医療との連携	0	0	
	対人援助技術	0	0	
	制度の説明	0	0	
	個人の悩み	0	1	
	その他	2	2	
小 計		4	3	
支援内容 (延べ件数)	情報収集	0	0	
	内容整理・問題の明確化	0	1	
	助言	2	1	
	同行訪問	0	0	
	会議	0	0	
	経過確認	0	0	
	その他	2	2	
小 計		4	4	
合 計		2,857	3,373	

② 介護予防支援実施人数（年間延べ件数）

年度	直営	委託	合計
R2	372	1,685	2,057
R1	344	1,505	1,849

③ 介護予防ケアマネジメント実施人数（年間延べ件数）

年度	直営	委託	合計
R2	591	315	906
R1	529	281	810

④ 年間給付管理件数

年度	直営	委託	合計
R2	963	2,000	2,963
R1	873	1,786	2,659

⑤ 虐待対応件数

項目	R2 年度	R1 年度
虐待支援計画作成件数	16	21

2. ボランティア・実習生の受け入れ状況

(ボランティアの受け入れ)

単位：人(延べ数)

区 分			R2 年度	R1 年度
長岡市デイサービスセンターふそき	定期	個人ボランティア	108	460
		団体(グループ)ボランティア	0	136
	随時	個人ボランティア	0	10
		団体(グループ)ボランティア	0	89
		保育園・学校等	0	91
	合 計			108

(実習生の受け入れ)

受入事業所	区 分	R2 年度		R1 年度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
長岡市デイサービスセンターふそき	北陸福祉保育専門学院 (小学校教諭普通免許)	5	25	5	25
	新潟県社会福祉協議会 (介護等体験)	5	25	5	25
	長岡こども福祉カレッジ (レクリエーション実習)	9	18	9	18
介護プランセンターふそき	新潟県厚生連中央看護専門学校 在宅看護実習	21	42	17	34
地域包括支援センターふそき	新潟県厚生連中央看護専門学校 在宅看護実習	9	18	10	20
	東北福祉大学通信教育部 社会福祉士演習・実習	0	0	1	3
合 計		47	125	47	125

3. 拠点委員会

① リスク管理委員会

- ・各部署で発生したヒヤリハットについて、情報の共有を図り、少しでも未然に防げる対策を講じるよう努めた。令和2年度から報告書を記録システムと連動させた書式に変更した。

## ② 防災委員会

- ・年間を通じて様々な災害を想定した訓練を計画通り実施でき、職員の防災意識が高まった。
- ・各種防災マニュアルの見直しを行うことができ、より現状に則したマニュアルが完成した。
- ・防災訓練は感染予防に配慮し、避難誘導時は密を避けるため、運動場を避難場所とし大声を出さないよう注意し実施した。

## ③ 感染対策委員会

- ・新型コロナウイルス感染症を予防するため、各事業所の実情にあわせて業務の見直しを実施し、委員会内で情報を共有した。また研修では動画を活用し、気付かなかった感染経路や注意すべき事項を学ぶことができ、次の対策に活かすことができた。

## ④ 労働衛生委員会

- ・委員会主催の研修については、メンタルヘルスの他、特養かつぼ園の理学療法士に依頼し、腰痛予防を重点的に学んだ。簡単にできる腰痛予防体操等を今後も実施したいという声が聞かれた。

## ⑤ 身体拘束虐待廃止委員会

- ・虐待の可能性を疑う事例は確認されなかったが、早期発見の視点について研修を実施した。

## 4. 苦情（意見）内容

デイサービスセンターふそき	①内容	申出人：ご本人 いつもご利用時に座る席と違っていただけで、テレビの音が大きく苦痛を訴えられた。またその際職員の対応に激怒された。
	原因と処理	いつも座る席は他のご利用者が座っていた。理解を得ようと話しかけたが難聴のためよく聞こえず、大声で話をしたことから高圧的に受け取られてしまった。すぐに管理者が謝罪し席については理解を求め納得された。
	改善策（結果）	難聴のご利用者には、より配慮して対応すること、テレビの音などの雑音は補聴器が拾い、より苦痛になることを理解し、配慮することを職員全員で申し合わせた。
	②内容	申出人：匿名（ご利用者の近所の方） 送迎時に車輛が道路を一時的に塞いでいた。早く立ち退いてほしいと匿名で電話が入った。
	原因と処理	道路幅が細かったこと、認知症で単身のご利用者だったことから、準備されていた荷物をいじってしまい、その確認に手間取ってしまった。
	改善策（結果）	細い道については可能な限り軽自動車を送迎を行う。
	③内容	申出人：匿名 「細い道路にワゴン車で入ってきて、事故を起こさないか心配している。またバックで走っており、何とかしてほしい。」と匿名で電話が入った。

	原因と 処理	細い道路が入り組んでいる地域で、かつご利用者宅が行き止まりの位置にあり、車両の切り返しが困難だった。謝罪し今後は軽自動車で送迎をする旨を伝え納得された。
	改善策 (結果)	細い道については可能な限り軽自動車で送迎を行う。
包 括 ふ そ き	①内容	申出人：ご家族 自己負担でベットをレンタルしたが、要介護4の認定が出た。以前申請日に遡って介護給付が適用できると相談員に言われたので保険給付の手続きをしてほしい。
	原因と 処理	本人が入院され、居宅介護支援事業所への引き継ぎができなかったため、すぐに対応できず、ベット利用の自己負担金が発生してしまった。謝罪し制度の説明を行った。双方の話し合いのうえ、自己負担分は当方が負担することで納得が得られた。
	改善策 (結果)	制度の説明を丁寧に行うとともに、場合によっては自己負担金が発生することを納得の上で利用してもらうよう、職員に周知した。

## 【拠点・ケアセンター花の里かつぼ】

### 1. 事業運営の成果

#### (1) 特別養護老人ホーム花の里かつぼ

- ・入居者の重度化や高齢化に伴い、疾病や転倒骨折による入院者が増加した。退所者も6名と例年に比べ多く空床期間が長くなり稼働率は98.0%となった。そのため、目標稼働率98.3%の達成ができなかった。

##### ① 介護

- ・地域運営推進会議を通じて定期的に地域の方からご意見をいただく場を設けた。コロナ禍で活動が制限された中でも入居者に寄り添った活動が実施されていると評価をいただいた。
- ・施設サービス計画に基づき、活動に制限がある中においても感染防止に努めながら季節に応じた余暇活動や行事のほか洗濯たたみ等の軽作業や園芸活動、外出活動等を実施し、入居者個々のニーズに沿った支援を行うことができた。
- ・研修計画に基づき、職員個々のスキルアップを図った。外部研修に参加できなかったが、オンラインによる研修に参加することができた。
- ・ご家族、入居者からの満足度調査や職員の自己評価から課題を見つけ、その改善に努めた。その中でもコロナ禍において面会制限や施設外の交流ができなかった件については令和3年度の活動に反映させたい。
- ・事業形態にあった人員配置や勤務時間の見直しを検討し、1月より施行的に実施することができた。

##### ② 医務

- ・協力病院や主治医と連携を図り入居者の健康管理に努め疾病の早期発見、治療につなげることで、本人及びご家族が望む対応を実施することができた。治療を必要とする入院は6名だった。
- ・多職種やご家族と連携を図り安心安楽な最期を迎えられるようケアを行い、最期まで穏やかに過ごしていただき、入居者4人の看取り介護を行う事ができた。
- ・多職種で連携し感染予防対策の実施及び周知の徹底を行う事で、施設内で感染症に罹患される入居者はいなかった。
- ・嚥下機能維持向上及び身体機能維持向上を図るため、定期的に口腔体操を行い、体を動かす機会を増やし活気のある生活につなげることができた。
- ・施設内研修を行い職員の意識向上、質の向上に繋げることができた。

##### ③ 給食

- ・委託給食業者と連携をとり、毎月の茶話会や日々関わりの中での入居者の要望を献立に取り入れ、潤いのある食事の提供を行うことができた。
- ・天候や季節に合わせ、テラスや地域交流室での食事を行い、コロナ禍で活動に制限があるなかでも日々の食事環境との変化をつけて非日常を楽しんでいただくことができた。
- ・多職種で食事の観察を行い、入居者の咀嚼・嚥下状態に合った食事形態及び水分形状で食事を提供し、誤嚥の予防や経口維持の取り組みを行った。

## 資料 1 <入居者の状況>

### ① 入退所状況

単位：人（実数）

入所前の待機場所						
待機場所	在 宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病 院	法人グルー プホーム	合 計
R2 年度	2	1	0	2	1	6
R1 年度	0	1	0	1	1	3

退所の状況					
状 況	在 宅	施設内で死亡 ※1（ ）	病 院	他施設	合計
R2 年度	0	4（4）	2	0	6
R1 年度	0	3	0	0	3

※1（ ）ターミナルケア計画に基づき、施設内で看取りを実施した数

### ② 年度末介護度別数

単位：人（実数）

年度	介護度	要介護度 1	要介護度 2	要介護度 3	要介護度 4	要介護度 5	合計
	R2 年度		0	0	3	10	16
R1 年度		0	0	4	8	17	29

### ③ 月別利用数

単位：人（延べ数）

R2 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	870	889	839	853	899	870		
R1 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	856	899	870	896	893	869		
人数	899	870	882	868	776	859			
人数	895	870	899	899	841	899			

### ④ 介護度別利用数

単位：人（延べ数）

R2 年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	0	0	1,562	2,758	6,054	10,374	4.42
R1 年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	0	0	1,036	3,464	6,086	10,586	4.48

### ⑤ 日常生活動作（令和3年3月31日現在） 単位：人（実数）

生活動作尺度	区 分	R2 年度	R1 年度
移 動	独歩	1	2
	介助・介助具使用	3	3
	車椅子	25	24
食 事	自立・見守り	14	14
	一部介助	3	2

生活動作尺度	区 分	R2 年度	R1 年度
食 事	全介助	11	12
	警官栄養	1	1
排 泄	トイレ 自立	3	3
	一部介助	2	3
	全介助	7	3
	ポータブルトイレ	0	0
	自立	0	0
	一部介助	0	0
	全介助	0	0
	オムツ	17	20
フオーレ	0	0	
入 浴	一般浴（座浴）	12	14
	特浴	17	15

⑥ 食事形態（令和3年3月31日現在）

単位：食（実数）

主食		副食		流動食	経管栄養
米飯	6	常食	1	1	1
粥	8	刻み食	7	/	/
ミキサー粥	11	超刻み食	7		
パン	1	ミキサー食	12		
パン粥	1				

資料2 <余暇活動等>

① 余暇活動の実績

単位：人（延べ数）

月	余暇活動内容	参加人数
5	テラスで食事	10
	フルーチェムース作り	10
	懐メロ会	9
6	カラオケ	7
	リズム体操	9
7	アイスパーティー	10
	七夕会	29
	かき氷作り	9
8	アイスパーティー	19
9	敬老会	29
	かき氷作り	10
	和フルーチェ作り	10
	どら焼き作り	10
	体操クラブ	9

月	余暇活動内容	参加人数
10	テラスで食事会	10
	秋のギターコンサート	10
	お好み焼き作り	9
11	小麦粉ドーナツ作り	10
	懐メロ会	9
12	クリスマス会	29
1	新年会	16
3	苺フルーツパフェ作り	10
	ロールケーキを食べる会	10
合 計		293

## ② 喫茶・お茶会

	実施回数	延べ参加人数
お茶会	4	39
喫茶	23	449

## (2) グループホーム花の里かつぼ

- 平均介護度は2.52と下がったが、転倒骨折による入院者が2件、肺炎による入院者が1件と空床日数が増加し稼働率が98.6%となった。目標稼働率98.5%は達成できたが、転倒骨折による入院をいかに減少させるかが課題として残った。
- コロナ禍でもできる地域交流を検討し、桂小学校とのZOOM交流や高校野球部との応援交流、町内ゴミステーション美化活動などの活動を継続し実施できた。ご家族・地域住民へ、グループホームの生活の様子やコロナ禍でも元気で過ごしている様子を発信する為、ホームページや回覧板便り・ポスターを作製、関係機関へ協力依頼し回覧し掲示した。
- 2か月に1回、地域住民の代表・地域包括支援センター職員から参加頂き地域運営推進会議を開催した。地域の方からは「直接の交流が難しい中でも今できるやり方で続けており素晴らしい」等評価頂いた。

## 資料<入居者の状況>

### ① 入退居の状況

単位：人（実数）

入居前の状況					
状 況	在 宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病 院	合 計
R2年度	6	0	0	0	6
R1年度	7	0	1	0	8
退居の状況					
状 況	在 宅	施設内で死亡	病院入院・老 健等他施設	特養へ入所 ※1（ ）	合 計
R2年度	0	2	1	3（1）	6
R1年度	0	2	4	2	8

※1（ ）内は法人内施設への入居された方の数

② 年度末介護度別数

単位：人（実数）

年度	介護度	要支援 2	1	2	3	4	5	合計
	R2 年度		0	3	5	8	2	0
R1 年度		0	2	5	8	2	1	18

③ 月別利用数

単位：人（延べ数）

R2 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	540	548	540	558	558	539		
月	10	11	12	1	2	3			
人数	557	496	537	541	503	558			
R1 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	540	537	533	557	556	533	6,485	98.4%
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	557	538	558	537	484	555		

④ 年度介護度別数

単位：人（延べ数）

R2 年 度	介護度	要支 2	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	0	1,087	1,824	2,812	682	70		
R1 年 度	介護度	要支 2	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	0	204	1,574	2,643	1,319	747		

⑤ 余暇活動の実績

単位：人（延べ数）

月	余暇活動内容	参加人数
4	花見ドライブ	9（内デイ 2）
5	悠久山公園、東山ファミリーランド	5
6	おはぎ作り	20（デイ 2）
7	夏祭り	22（デイ 4）
8	桂小学校	5
	ハイブ長岡	4
	墓参り	1
	川西屋	3
9	悠久山	7
	長寿を祝う会	22（デイ 4）
10	パティオ見附	9
	見附方面	4
11	宮本方面	8
	悠久山	8
12	忘年会	22（デイ 5）
2	見附方面	6
	市内ドライブ	7
	節分	22（デイ 5）
合計		184（デイ 22）

## ⑥ クラブ活動の実績

例年書道クラブを実施していたが、コロナ禍ということ、講師が高齢であること等から申し出があり活動中止となった。

## (3) デイサービス花の里かつぼ

- ・居宅介護支援事業所と連携を図り、認知症の症状や栄養状態等の細かな情報をご利用者やご家族へ伝え、適切なサービスが提供できるよう努めた。若年性認知症者や他サービス利用が困難な方についても、関係機関と連携を図り受け入れを実施した。また、利用者個々のニーズに沿って個別外出や地域活動等にあわせた利用調整を行い、楽しみや張り合いのある生活支援に努めた。11月より定員を3名に変更したことや登録利用者の施設入所や入院があり、実人数が減少したことから、稼働率は下がり目標稼働率57.8%を達成できなかった。
- ・通所介護サービス計画に基づき、家庭的な雰囲気の中で利用者の能力に応じた日常生活動作の継続支援や余暇活動、外出活動等を実施することができた。
- ・デイサービスを利用しながらグループホームへの入居を待たれる方もおられるため、慣れた環境・顔馴染みの関係性が築かれるように努めた。令和2年度はデイサービスから2名のご利用者がグループホームへ入居となった。

## 資料<利用者の状況>

### ① 登録者数 単位：人（実数）

区分 年度	長岡市
R2年度	8
R1年度	10

### ② 利用者数 単位：人（延べ数）

区分 年度	長岡市	稼働日数	1日あたり 平均人数
R2年度	1,251	365	3.43
R1年度	1,760	366	4.18

### ③ 月別利用数 単位：人（延べ数）

R2年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	117	132	134	154	135	143		
月	10	11	12	1	2	3			
人数	139	68	72	58	47	52			
R1年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	145	158	153	157	148	150	1,760	80.2%
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	144	149	140	135	136	145		

④ 介護度別利用者数

単位：人(延べ数)

R2 年 度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	0	451	296	244	65	195	1,251	2.41
R1 年 度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	0	659	586	249	9	257	1,760	2.22

2. ボランティア・実習生等の受け入れ状況 コロナ禍により受入を中止した。

(ボランティアの受け入れ)

単位：人(延べ数)

区 分		R2 年度	R1 年度	
ケアセンタ ー花の里か つぼ	定期	個人ボランティア	0	33
		団体(グループ)ボランティア	0	164
	随時	個人ボランティア	0	3
		団体(グループ)ボランティア	0	29
		保育園・学校等	0	43
	合 計		0	272

(実習生の受け入れ)

受入事業所	区 分	R2 年度		R1 年度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
特養花の里かつ ぼ・グループホ ーム花の里かつ ぼ	新潟県認知症実践者他施設実 習(認知症実践者研修)	0	0	3	3
合 計		0	0	3	3

3. 拠点委員会

① リスク管理委員会

- ・事故を未然に防ぐため、計4回の施設内研修を実施した。研修を通して、気付きが必要であること、気付いたことを発信する事で情報共有できる事を再認識でき事故を未然に防ごうという意識も高まった。また、アクシデント発生後、1週間後、3週間後の各検討会議を行うことで対策の確認と再周知を実施した。あわせて事故防止マニュアルの見直しを行なった。

② 食事サービス委員会

- ・検食簿の評価を行なうことで、安全・安心の食事提供を行った。
- ・入居者に聞き取りによる食事満足度調査を行った。要望については、その後の献立で取り入れ対応していくことができた。
- ・ふれあい畑で野菜を栽培し、収穫・調理を行い、入居者と共に旬の味覚を楽しむことができた。

### ③ 感染対策委員会

- ・食中毒、感染予防研修、嘔吐物処理の方法について年2回の研修を行い意識向上に繋がった。
- ・委員会から職員に感染予防についての意識付けを行うことで今年度は感染症の発生はなかった。
- ・新型コロナウイルス対策としてマニュアルを作成し発生時の訓練を実施した。また県内の感染状況の確認を行い施設内で共有することが出来た。職員に対し感染対策の基本的な行動や働きかけを徹底し、感染予防に対する意識を高めることができた。今後も主治医及び協力病院との連携を図り感染予防を行い、新型コロナウイルスに対し日頃から準備し訓練を行っていきたい。

### ④ 労働衛生委員会

- ・職員の定期健康診断を実施し、要医療の結果の職員には受診するよう声かけを実施し早期治療に繋げることができた。メンタルヘルスについてはストレスチェックの実施により自分のストレスの状態を確認してもらうことができた。「メンタルヘルスの必要性、こころが発信する不調のサインに気付く」の研修を実施しストレスとの向き合い方を学ぶことができた。腰痛予防についての研修会を実施することができなかった。

### ⑤ 身体拘束的拘束適正化委員会

- ・身体拘束防止と虐待防止に関する職員研修会を年2回実施し、職員への意識向上を図り理解を深めることができた。
- ・グレーゾーンの事例集を作成すると共に毎月ユニット会議で不適切と感じるケアについて話し合いの場を設けた。その結果全職員の意識付けが図れ、自分のケアを振り返るようになった。
- ・見守り機器の使用者について定期的に効果検証を行い、夜間帯の事故防止に努めた。令和3年度の検証はリスク管理委員会で実施することとした。

### ⑥ 園芸委員会

- ・新型コロナウイルスの影響で春の花壇イベントは中止し、花壇整備活動として法人職員のみで実施した。秋の花壇イベントも中止したが、春と同様に花壇整備活動として花華クラブとの合同で実施した。例年通りの花数を植えることが出来た。また、日頃の花壇整備として花壇のレイアウトの考案や草取り、花がら摘みや切り戻し等を行うことができた。夏場の花壇の水やりは全職員協力のもと実施出来た。長岡市の花いっぱいコンクールでは職場の部で「優良賞」を頂いた。

### ⑦ 防災委員会

- ・防災計画に基づき、初期消火訓練・放送設備訓練・緊急連絡網訓練等の部分訓練をはじめ、水害・土砂災害想定、地震・原子力発電所トラブル災害想定、夜間火災想定総合避難訓練を実施した。総合避難訓練では職員同士の連携内容と伝達に使用するトランシーバーの使用方法に課題があった。
- ・災害時、避難をした場所にて各入居者の身体状況や内服薬情報がすぐに把握できるように「避難時入居者情報」を作成した。看護とともに連携を図り、情報がすぐに更新できる体制を整えた

### ⑧ 痰の吸引等安全対策委員会

- ・医師より痰の吸引の指示を受けている入居者はいなかった。職員に対して安全に痰の吸引ができるように実技研修を行なった。その他物品の点検、管理を定期的に行なった。

#### 4. 苦情（意見）内容

令和2年度 0件

##### 【シルバーハウジング生活援助員派遣事業】

市内3か所のシルバーハウジングに対し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、生活相談、安否確認や緊急対応などを行う「生活援助員（LSA）」を派遣した。（長岡市の受託事業）

令和2年4月1日～令和3年3月31日

シルバーハウジング稽古町

稽古町団地県営住宅のうち20戸（平成13年から）

緊急呼出し件数	内容(対応)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	誤報	4	4	0	1	0	3	3	2	2	3	2	0	24
救急車手配								1					1	
市役所連絡													0	
家族連絡	1												1	
医療・福祉機関連絡								1					1	
その他													0	
入退室状況	住替え(施設入所等)	1			1									2
	入院等								1					1
	他界													0
	その他													0

入居者全体の高齢化が進み、昨年に引き続き福祉や介護の支援を受ける方が増えている。また他シルバーハウジングと比較し昼夜問わず誤報が多かった。

令和2年4月1日～令和3年3月31日

シルバーハウジング千歳

千歳団地市営住宅のうち20戸（平成18年から）

緊急呼出し件数	内容(対応)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	誤報	1	2	0	1	0	4	0	2	2	1	0	2	15
救急車手配													0	
市役所連絡													0	
家族連絡													0	
医療・福祉機関連絡													0	
その他						1							1	
入退室状況	住替え(施設入所等)													0
	入院等	1					1							2
	他界													0
	その他													0

全体的にトラブルも少なく落ち着いている。

令和2年4月1日～令和3年3月31日

シルバーハウジング稲葉

稲葉団地市営住宅のうち20戸(平成26年から)

	内容(対応)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	緊急呼出し件数	誤報											1	
救急車手配														0
市役所連絡														0
家族連絡										1				1
医療・福祉機関連絡										1		1		2
その他			1	1		1								3
入退室状況		住替え(施設入所等)						1						
	入院等		1			1	2			2	1	2		9
	他界	1												1
	その他													0

体調不良等により入院者が多かった。ご家族や関係機関と連携を取り、退院後の生活を支援した。